地域が学校の応援団!!

4月から 学校支援地域本部事業がスタート

「学校支援地域本部事業」が４月からスタートします。学校の教育活動を地域で支援していく事業で、学校の要請に応じてスポーツ指導や農業体験などにボランティアを派遣するものです。今後、活動を支援するスクールサポーター（学校支援ボランティア）を募集、養成していく予定です。

教育活動の充実に期待

地域本部の目的

学校支援地域本部は、「地域につくられた学校の応援団」です。

教育委員会が実施しているスポーツ指導者派遣事業や、地域の協力による各学校の総合的な学習の時間などの延長線上にある事業です。

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、これまで以上に学校、家庭、地域の連携協力を強化していくもので、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることが大きな目的です。

期待される効果

①教員や地域の大人が子どもと向き合う時間が増えるなど、学校や地域の教育活動の充実が図られます

□教員だけでは担いきれない業務などを地域が支援することで、教員が教育活動に専念でき、子どもと向き合う時間などに充てることができます。

□子どもたちが、多様な知識や経験をもつ地域の方と触れ合う機会が増え、子どもたちの学習活動の充実や、子どもたちへのきめ細かな教育にもつながります。

□地域に対する理解やボランティアへの関心が高まり、子どもの「生きる力」の育成につながります。

②地域の方が自らの学習成果を生かす場が広がります

□地域の方が、積極的に学校支援活動に参加することで、これまで培ってきた知識や経験を生かす場が広がるほか、生きがいづくりなどにもつながり、生涯学習の推進が図られます。

③地域の教育力が向上します

□地域の方が、子どもたちに社会のルールを守ることなどを働きかける「地域の教育力」が向上し、地域のきずながより強まることが期待されます。

スクールサポーターを募集

学校支援地域本部事業のスタートに向けて、学校の教育活動をボランティアで支えてくださるスクールサポーターを募集します。

募集期間は、３月１日から31日までで、その後も随時募集する予定です。教育委員会では、ボランティア保険に加入します。

町民の皆さんのご協力をお願いします。

○問合せ　社会教育課（☎47-2121）

教育力向上を後押し

訓子府町での取り組み

訓子府町では以前から、スキーやスケート、水泳などのスポーツ指導者派遣事業のほか、農業体験学習や子ども安全パトロールなど多くの学校支援活動を実施している下地があります。

今回の学校支援地域本部事業では、これまでの活動をさらに充実させるものです。学校の要請に応じて、各種支援を行い、地域の教育力を高めるとともに、子どもたちの教育活動を後押しします。

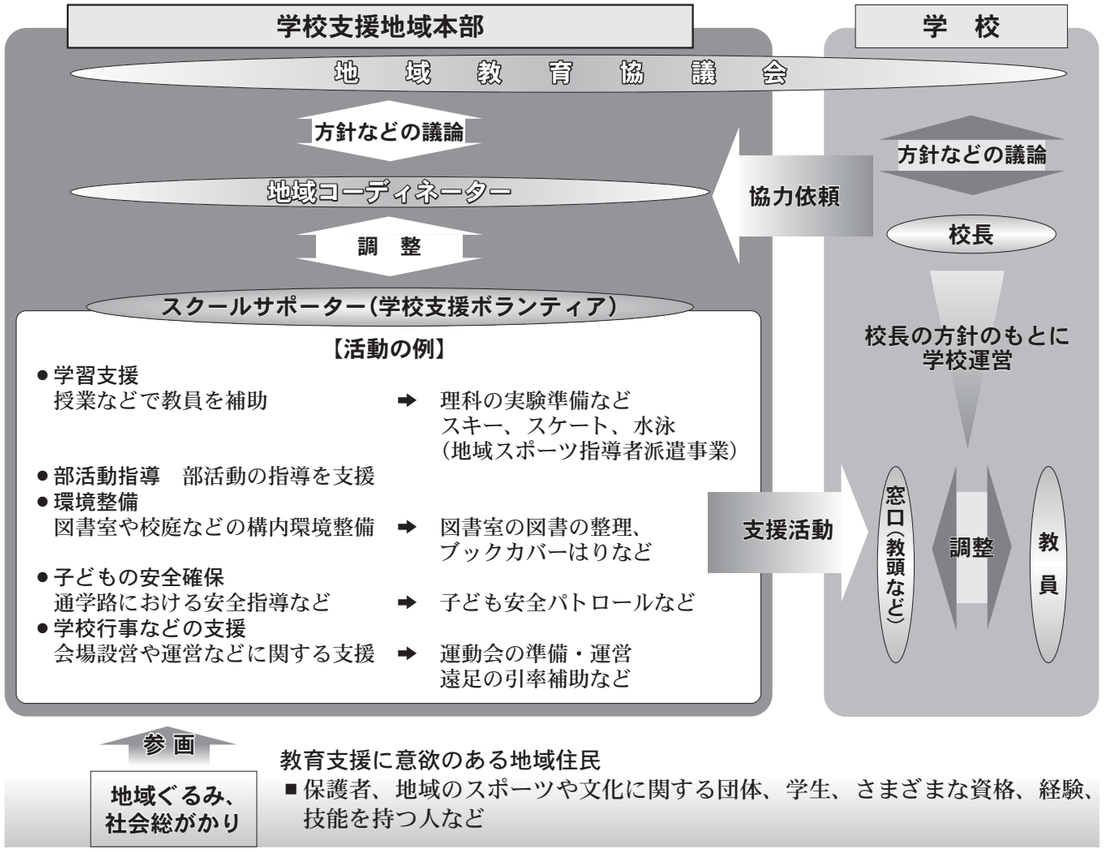
４月からのスタートに備え、教育委員会では、地域教育協議会の開催や地域コーディネーターの配置、学校からの要望の聞き取り、スクールサポーターの募集・養成を行う予定です。

仕組み

学校支援地域本部の概要は、下図のとおりです。

「地域コーディネーター」「スクールサポーター（学校支援ボランティア）」「地域教育協議会」で構成されます。

地域コーディネーターは、学校とスクールサポーター、スクールサポーター間の連絡調整などを行い、本部の実質的な運営を担います。訓子府町では、公民館に一人配置する予定です。

スクールサポーターは、実際に支援活動を行う地域住民の皆さんです。学習支援や部活動の指導、さらに校内の環境整備や登下校時における子どもの安全確保などの支援を行います。

地域教育協議会は、学校やＰＴＡ、コーディネーター、ボランティア代表、教育など地域の代表者で構成し、本部でどのような支援を行っていくか、方針を企画、立案する機関です。